

七友会 だより



「定年退職を迎えて」

人文社会科学部長 長野 俊一

退職の日まで残り一月余りとなったいま、脳裡に去来するさまざまの想いや出来事の中から、さて、どれを選んで書けば良いのやら、ほとほと困ってしまいますが、苦労話はさておき、楽しかった思い出の一端を披露することでご挨拶に代えさせていただきます。

目次

あいさつ	1
進路選択セミナー	2
「学部就職ガイダンス」開催	2
評議員会 開催案内	2
一期生の集い	3
同窓会の個人情報の取扱いについて	3
学長と卒業生・修了生との懇談会	4
堺茂樹学長大学葬でお別れ	4
訃報	4
新学部長決まる	4
探しています	4

何より忘れられないのは、1999年から2000年にかけて、文部省（当時）長期在外研究員として三たび訪れたモスクワなどでの充実した時間です。ロシア科学アカデミー世界文学研究所における研究生生活はもとより、ロシア国立図書館（旧レーニン図書館）や国立トルストイ博物館付属図書館に足繁く通い、貴重な図書と資料を閲読・収集できたことは無類の喜びであったと同時に、それらはいま私の掛け替えのない「財産」になっています。

もちろん、一日中、文献と睨めっこしてはいたわけではありません。時間があれば、街に繰り出し、大都市モスクワを隅々まで（文字通り）歩き回ったものです。日本に居るときは、何かとずぼらな私ですが、綿密なプランを立て、そうした散策の合間に100以上のミュージアム訪問も果たせました。帰国後、『モスクワ・ミュージアム案内』（東洋書店）を上梓できたのは、その余録というべきものでしょうか。

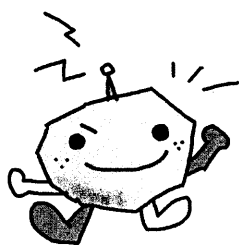
また、モスクワから遠く離れたサラトフで過ごした1週間はさらに忘れ難い経験です。研究対象の一つチェルヌィシエーフスキーの生地であるヴォルガ河畔のこの都市は、永らく「閉鎖都市」であったため、生涯訪れることはないと半ば諦めていたのですが、時代の移り変わりとともに禁が解かれ、日本を発つ直前、同地で開催される国際学会事務局から招待状というサプライズが届いたのです。

かの地では、下にも置かぬもてなしを受け、日本からのチェルヌィシエーフスキー研究者という物珍しさも手伝って、テレビ・ラジオ・新聞各社のアポなし取材攻勢。これには正直面喰らいました。そのせいでしょうか、研究発表を無事済ませた翌日、街中を歩いていると、見知らぬ人に突然声をかけられたり、カフェに入れば、笑顔のウエイトレスから「テレビで見ましたよ」と一皿余計にサービスされたり……。後にも先にも、こんなことは最初で最後の経験でしょう。

さらには、チェルヌィシエーフスキー研究の第一人者、サラトフ教育大学のジェムチェンコ博士の自宅に招かれ、まだ次の日も学会が続くにも関わらず、深夜3時過ぎまで痛飲し（もちろんヴォトカ）、人通りの絶えた街路を、ご家族総出で歩いてホテルまで送り届けてもらったことも忘れられません。深閑とした寒空の闇に響くのはわれわれの靴音ひとつ。未だに耳の底に残っています。これがロシア式歓待の真骨頂。

無尽蔵の思い出の中の以上が断片です。岩手大学での32年間に、こんなに心地よい時を持つ機会を与えられたことには、ただただ感謝あるのみです。

末筆ながら、七友会の皆様にも一言お礼申し上げます。平日頃から、人社の教育研究活動に多大なご支援・ご協力を頂き、誠にありがとうございます。とりわけ、佐原会長には、就活セミナーをはじめ各種イベント毎に、はるばる九州から飛んで来て頂きました。改めて、深く頭を垂れ感謝の意を表します。今後とも引き続き、心強い応援団としてご支援を賜りますようお願いいたします。



Iwate University
岩手大学

「進路選択セミナー」多数の学生が参加

(主催：七友会・学部就職委員会)

今年度2回目、通算で6回目となる「進路選択セミナー」は、さる2月6日(金)、学生センターG19教室で行われました。

第一部は、まず就職活動についての情報や家裁調査官についての話があり、その後で同窓生による話と、質疑応答が行われました。対象は学部学生ですが、学部就職委員会で特に1年生全員にチラシを配るなど、手を尽くされたこともあり、教室は70名近くの学生で一杯になりました。

講師は、工藤康身氏(8期卒・三井住友銀行)と、加藤裕則氏(9期卒・朝日新聞社)の2名にお願いしました。工藤氏は、バブル崩壊や金融危機、リーマンショックなどの日本経済の盛衰の縮図ともいえる、メガバンクで生き延びてきた実体験を話題のドラマにダブらせながら話し、仕事をするとはどういうことか…という思いを伝えました。加藤氏は、新聞記者という不規則な仕事をどうして選んで続けているのか

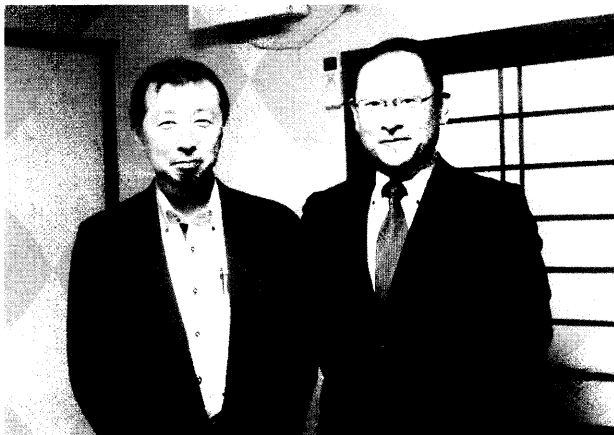


…という仕事への熱い思いを話しました。

第二部では、2名の講師の他に、アドバイザーとして参加の落安昭三氏、吉田真二氏も加わって、10名程の学生と仕事についての様々な疑問を話し合いました。参加学生からは「先輩から直接話が聞けてためになった」「卒業後の進路を考える幅が広がった気がする」などの声がありました。回を重ねるにしたがって、先生や学生の意識も変化してきているように感じられます。

次回は平成27年6月19日(金)
を予定しています。

講師やアドバイザーとして参加したいという方は事務局までお知らせ下さい。また、同窓会からお願いすることがありますので、御協力の程よろしく申し上げます。



講師をお願いした加藤裕則氏(左)、工藤康身氏(右)の二人

「学部就職ガイダンス」開催

～就職活動への心構えを学ぶ～

就職活動へ入る3年生を対象とした「学部就職ガイダンス」が、平成26年12月9日(火)学部内で開催されました。まず、長野学部長から激励のことはをいただき、それを受けて、第一部では、一期生の落安昭三氏(盛信ビジネスサービス㈱代表取締役)が、『今どきの金融機関』と題して、長年勤めてきた金融機関の仕事の変遷と現状を踏えて、就職活動への心構えを話しました。第二部は、会場を中央食堂へ移し、内定をもらった4年生4名を囲んで経験談を聞き、意見交換がおこなわれました。これは軽食や飲み物も用意された立食形式でおこなわれ、30名を越える学生が熱心に話を聞いていました。

評議員会 開催案内

平成27年度の評議員会は以下の日程で開催予定です。評議員以外の方で、参加を希望する方は、準備の都合がありますので、あらかじめ事務局までお知らせ下さい。

記

日時 平成27年6月20日(土) 13:30~17:00

会場 盛岡市内

- 議題
- ・平成26年度 事業報告・会計決算報告について
 - ・平成27年度 事業計画(案)・会計予算(案)について
 - ・35周年記念同窓会について
 - ・個人情報保護方針(案)について
 - ・その他

『一期生（昭和52年6月入学）の集い』

7月19日(日)開催 決定!

～とことん話して とことん飲もう!～

会報39号で呼びかけました「一期生の集い」については、多くの方から賛同が得られ、開催する運びとなりました。

盛岡周辺のメンバーを中心に何度か会合をもち話し合い以下の日程で開催することにしました。現在30名をこえる方から参加の意向を得ていますが、入学者197名のうち住所等がわかっているのは半数ぐらいにすぎません。そこで、4月末までは連絡先の把握に努め、できるだけ住所不明者を減らし、あらためて開催案内ハガキを出したいと思えます。一期生として入学された皆さん、御自身の持っている情報を至急お知らせ下さい。よろしくお祈りします。

記

日時：平成27年7月19日(日) 16時から18時30分

会場：展望レストラン「スカイメトロ」
(盛岡駅西口、マリオス20階)

会費：6～7,000円

盛岡周辺のメンバーで実行委員会を組織しました。御協力下さい。

実行委員長 藤村(旧姓 馬場) 紀行
副実行委員長 落安 昭三
幹 事 遠藤 隆、及川 重彦、猿川 弘治、
晴山 農、北村(旧姓 杉原) こそえ、
岩淵 健一、相澤(旧姓 高橋) 文恵、
佐原 和典

問い合わせ、連絡先

- ① 晴山司法書士事務所(晴山農)
〒028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅8-213-101
FAX 019-681-6016
- ② 佐原 和典
〒811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2804-1-806
TEL・FAX 092-409-8862

※次回会合は、5月9日(土)を予定

=同窓会の個人情報の取扱いについて=

同窓会で所有する会員情報については、会則に則った活動に使用していますが、様々な問題がおきていることを踏まえて、以下の(案)を叩き台にして、平成27年度評議員会(6月開催予定)で検討し、決定したいと考えています。御意見等ある方は、氏名、卒業期を明記の上、事務局までお寄せ下さい。

七友会個人情報保護方針(案)

岩手大学人文社会科学部同窓会(以下「七友会」という)は、その事業を行うにあたり、保有する個人情報を以下の方針により取り扱います。

1. 個人情報の定義および取得

七友会は保有する個人情報は以下のとおりとし、適正な手段により取得します。

会員氏名、性別、卒業期(修了期)、専攻、住所、電話番号、メールアドレス、勤務先(職業)または進学先に関する事項

2. 法令の遵守

七友会は、個人情報に関する法令を遵守するとともに、個人情報の保護に関する取り組みを継続的に改善していきます。

3. 個人情報の利用目的

七友会は会則に定める目的である「会員相互の親睦と母校の隆盛を図り、社会の発展に寄与する」ため、保有する個人情報を利用します。

具体的には、

- ・ 会報の送付
- ・ 七友会が主催する事業の案内および連絡
- ・ 七友会の支部活動または同期会活動等に関する支援

・ 在学生への就職活動支援などです。

4. 個人情報の第三者への提供

七友会は、法令に基づく場合または本人の同意を得た場合を除き、個人情報を第三者に提供しません。

ただし、「岩手大学同窓会連合」および「岩手大学」に利用の目的範囲内において個人情報提供することがあります。

また、個人情報の取り扱いにかかる業務を第三者に委託する場合は、その個人情報を適切に管理するよう監督を行い、必要な措置を講じます。

5. 個人情報の管理および開示・訂正・追加・利用停止

七友会は、保有する個人情報の正確性を保ち、これを適正かつ安全に管理します。

また、会員より自己の個人情報の開示・訂正・利用停止等の請求あった場合には、本人確認のうえ速やかに対応します。

なお、利用停止等を行った場合、七友会からの会報送付や連絡が出来なくなることがありますので、ご了承ください。

6. 個人情報に関する問い合わせ窓口

七友会の個人情報に関しては、下記までお問い合わせください。

なお、個人情報を正確かつ最新の内容に保つため、個人情報の変更(転居、転職、改姓等)があった場合は、速やかに七友会までお知らせ下さい。

連絡先 七友会事務局

住所：◆◆◆

電話・FAX：◆◆◆

メールアドレス：◆◆◆

会員の皆さん、連絡先をお知らせ下さい

同窓会では、毎年このような会報を発行しています。これらを皆さんに送るためには、連絡先の把握が重要になりますが、転居等で連絡先が不明になることが多く、現在、4割強の方が不明状態になっています。

連絡先は現住所でも実家等家族住所でも構いませんが、確実に連絡のつくところをお願いします。転居等の際には郵便局への届出と共に、事務局へもお知らせ下さい。

なお、寄せられた情報は同窓会活動のみに利用されるもので、事務局で一括管理されています。また、会費については、ほとんどの方が入学時に納められていますので、特に請求されることはありません。同窓会活動は、ほとんど会員のボランティアで運営されています。今後の学部の発展及び同窓会の親睦のための活動に、ぜひ御協力下さい。

※友人で会報の届いていない方は、連絡先不明になっている可能性があります。すぐに事務局までお知らせ下さい。

連絡先情報

ふりがな 氏名 (男・女)	卒業 専攻	期 (S H C O U R S E) (コース 課程)	年 月 卒 研 究 室 セ ミ ナ ー	封筒にある整理番号 No. _____
現住所 〒				
(自宅) TEL FAX	携帯		勤務先名等 (可能なかぎり)	
E-mail				
家族等連絡先 〒				

学長と卒業生・修了生との懇談会(第8回)が 7月25日(土) 福島市で開催決定!

今回で8回目となる「学長と卒業生・修了生との懇談会」は7月25日(土)に福島市で開催することが決まりました。この懇談会は岩手大学の現状を知ってもらうとともに、卒業生・修了生から大学への要望や意見をきいて、これからの大学運営に生かしていくためのもので、岩手大学と同窓会連合が共催しておこなっています。

今回は、東日本大震災で大きな被害を受けた地域の意見を聞こうと以下の日程で福島市で開催することになりました。岩手大学からは学長をはじめとして役員、各学部長が出席し、各学部同窓会からも会長が参加します。福島県内や隣接する地域の同窓生の方には、6月頃改めてハガキで案内を差し上げますが、多くの方が参加され、活発な意見交換、交流会がおこなわれることを願っています。御協力の程、よろしくお願い致します。

記

日時 平成27年7月25日(土)
・懇談会 15:00~17:00
・懇親交流会 17:30~19:00

会場 ホテル福島グリーンパレス
(福島市太田町13の53 福島駅西口徒歩2分)
※懇親交流会は会費制ですが、同窓会から半額ほど補助の予定です。

堺 茂樹学長 大学葬でお別れ

去年11月に亡くなられた岩手大学の堺茂樹学長の告別式が1月30日(金)、岩手大学葬として営まれました。降りしきる雪の中、会場となった盛岡グランドホテルには、大学関係者や学生をはじめ県内外から700名を超える方が参列されました。全国から寄せられた多くの供花・供物、弔電の中を、参列者ひとりひとりが献花をして最後のお別れをし、故人の冥福を祈りました。

なお、七友会からは佐原会長、吉田副会長が参列しました。

堺茂樹学長の死去に伴う次期学長の選考が行われ、工学部教授の岩淵明氏(65才)が候補者に選ばれました。岩淵氏は宮城県出身で専門は材料力学。任期は、堺学長の残任期間で、3月16日から平成29年(2017年)3月31日までです。

訃報

七友会理事である一期生の大志田穰氏が病氣療養中のところ、平成26年12月12日(金)午前中に亡くなられました。享年57歳、あまりに突然の知らせに言葉をなくしています。大志田氏は初代の盛岡支部長として、また長く理事として同窓会活動に尽力いただきました。あらためて感謝申し上げますとともに、心より御冥福をお祈りいたします。

なお葬儀には多くの一期生が参列し、友人代表として一期生の猿川弘治氏が弔辞を述べました。

新学部長 決まる!

平成27年3月31日で定年退職される、人文社会科学部長の長野俊一教授にかわり、横山英信教授(52才)が次期学部長に選ばれました。専門は農業経済論で、任期は平成27年4月1日から平成29年3月31日までです。全学の組織改革に伴う文系学部の改編もあり、今後の活躍が期待されています。

《探しています!『優勝カップ』》

6期生ぐらいまでの方には記憶があると思いますが、当時行われていた「学部スポーツ大会」で総合優勝チームに贈られていた「優勝カップ」を探しています。大会終了後、参加者で賞品のビールを飲んだ憶い出もあります。学部30周年を迎える頃にも学部内を探していただきましたが、発見できませんでした。所在について何か情報をお持ちの方は、会長佐原までお知らせ下さい。

岩手大学人文社会科学部同窓会 <七友会>

【郵便宛先】020-8550 盛岡市上田3-18-34
岩手大学 人文社会科学部内「七友会」宛
【事務局】Tel(留守録)& Fax: 047-336-3945
E-mail: jimuj@jinsya.com

ホームページもご覧ください!

http://www.shichiyukai.net/
http://www.jinsya.com/〔関東支部〕